



第54回関西女子サッカー選手権大会 兼 皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会関西大会 実施要項

1. 趣旨

一般社団法人関西サッカー協会は、関西地域内における女子のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学1年生以上の登録選手を対象とした関西地域で最も権威のある単独チームの大会として実施する。

2. 名称

第54回関西女子サッカー選手権大会 兼 皇后杯 JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会関西大会

3. 主催

一般社団法人 関西サッカー協会

4. 主管

一般社団法人 関西サッカー協会 女子委員会

5. 協力

株式会社 モルテン

6. 日程・会場

- 〈1回戦〉 2025年 8月31日(日) 京都府 アクアパルコ洛西(2試合)
奈良県 御所市民運動公園(3試合)
和歌山県 上富田スポーツセンター 多目的B(3試合)
- 〈2回戦〉 2025年 9月 7日(日) 大阪府 J-GREEN 堺 天然芝(2試合)
兵庫県 三木総合防災公園 第2陸上競技場(2試合)
- 〈準決勝〉 2025年 9月14日(日) 兵庫県 三木総合防災公園 第2陸上競技場(2試合)
- 〈決勝〉 2025年 9月23日(火祝) 大阪府 J-GREEN 堺 天然芝(1試合)

組合せ : (一社) 関西サッカー協会女子委員会において抽選を行い、決定する。

代表者会議: 実施しない。

開会式 : 実施しない。

7. 参加資格

- (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下JFA)に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
- (2) 2013年4月1日以前に生まれた女子選手であり、2025年8月8日(金)までにJFAに登録(追加登録も含む)されていること。小学生は出場できない。また、中学生以下の選手だけの大会参加申込は不可とする。
- (3) クラブ申請制度の適用: 本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」内のチームに所属する選手(複数名も可)については、所属チームから移籍することなく、上記(1)のチームで参加することができる。但し、



参加する選手については、以下のすべてを満たしていること。

①上記 (2) を満たしていること。

②下記種別区分のチームに所属すること。

(ア) 参加チームの種別区分が「WE リーグ・なでしこリーグ・一般・大学」の場合：

同一「クラブ」内のチーム登録種別区分 「高校」・「クラブ (高校生)」・「中学」・「クラブ (中学生)」・「(男子) 2 種」・「(男子) 3 種」

(イ) 参加チームの種別区分が「高校・クラブ (高校)」の場合：

同一「クラブ」内のチーム登録種別区分 「中学」・「クラブ (中学生)」・「(男子) 3 種」

③本大会の予選を通して、他のチームで 参加 (参加申込) していないこと。

(4) 外国籍選手：5 名まで登録でき、1 試合 3 名まで出場できる。

(5) 移籍選手：本大会の予選を通じて、選手は他のチームで参加 (参加申込) していないこと。

8. 参加チームとその数

参加チームは、前年度府県大会参加チーム数より算出された枠による 16 チームとする。

滋賀県 2 チーム 京都府 4 チーム 奈良県 1 チーム、
和歌山県 1 チーム 大阪府 5 チーム 兵庫県 3 チーム

9. 大会形式

ノックアウト方式 (3 位決定戦は行わない)

10. 競技規則

大会実施年度の JFA「サッカー競技規則」による。(新ルール 2025/26)

11. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールド表面は平坦で常緑な天然芝であり、ピッチサイズは原則 105m×68mであることが望ましい。

(2) ボール

試合球はモルテン社製ボール『ヴァンタッジオ 4900 5 号 芝用 (品番：F5N4900)』とする。

マルチボールシステムは採用しない。

(3) 競技者の数および交代回数

① 競技者の数：11 名

交代要員の数：9 名以内

② 交代を行うことができる数：5 名以内 以下、本項に基づく交代を「通常交代」という。

a. 試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は、各チーム最大 3 回とする (1 回に複数人を交代することは可能)。ハーフタイムの交代は回数に含まれない。

b. 延長戦が行われる場合、さらに 1 名かつ 1 回の交代を行うことができる (直前の試合時間と合わせて最大 6 名かつ 4 回の交代が可能となる)。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。

い。

③ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱い、次の通りとする。

- a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳震盪交代」という)は、通常交代に含まれない。
- b. 脳震盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
- c. 脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、本項に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、追加交代および通常交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。
- e. 1試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
- f. 脳震盪(疑い含む)の判断については、両チームの監督に委ねるものとする。

④ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3名以内

(4) 役員の数

ベンチ入りできる役員の数：7名以内

(5) テクニカルエリア

設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から都度1名が伝えることができる。

(6) 競技者の用具

① ユニフォーム

- a. JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- b. Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。
日本女子プロサッカーリーグ加盟チーム又はその傘下のチームについては、公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。
日本女子サッカーリーグ加盟チーム又はその傘下のチームについては、一般社団法人日本女子サッカーリーグのユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。
- c. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。JFAに登録されたものを原則とする。ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- d. シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- e. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- f. 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- g. ソックスにテープ又はその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合は、ソックスと同色で



なくてもよい。

- h. アンダーシャツ・タイツの色は問わない。ただしチーム内で同色のものを着用する。
- i. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- j. ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締め切り後の変更は認めない。
- k. ユニフォームへの広告表示については JFA「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- l. ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。
- m. キャプテンが着用するアームバンド
 - ① フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須とする。
 - ② アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。

(7) 試合時間

- ① 試合時間は1回戦、2回戦、準決勝は80分（前後半各40分）、決勝戦は90分（前後半各45分）とする。
ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則15分間
- ② 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
決勝戦は30分（前・後半15分）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝者を決定する。
他はPK戦により勝者を決定する。
延長戦に入る前のインターバル：5分間
PK戦に入る前のインターバル：1分間
- ③ アディショナルタイムの表示：行う

(8) マッチ MT

試合開始45分前に各会場の指定された場所にて行う（各会場で確認のこと）。
各試合に第4審判、記録の割当を行う（別紙にて確認のこと）。
第4審判、記録の担当者はマッチ MT に参加すること（第4審判は審判証を持参し提示すること）。
※メンバー表は、試合開始60分前に3部提出するものとする。

(9) その他

- ① 第4の審判員の任命：行う。
- ② 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- ③ メンバー提出用紙提出後からキックオフまでの間における選手変更は、ウォーミングアップ・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限られる。先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。また、控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申込をした30名の中からとする。
- ④ 暑熱下において、熱中症対策として Cooling Break または、飲水タイムを採用する。

12. 懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会において順



次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。

- (2) 本大会は、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は関西女子委員長とし、委員（各府県委員長）については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (6) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、一般社団法人関西サッカー協会規律委員会にて決定する。

13. 大会参加申込

- (1) 選手の参加申込は役員7名、選手30名までとする。参加申込した最大30名の選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大20名を選出する。
- (2) 参加チームは、参加費用を大会指定口座は振込み後、大会指定のエントリー表に必要事項を入力の上、参加申込手続きを行う。
- (3) 申込期限：2025年8月15日（金）15：00
- (4) 申込先：【宛先】 北村直子（奈良） kcpmm079@ybb.ne.jp
CC：谷口雅則（滋賀） masa.19801010@gmail.com
あわせて各府県女子委員長へも送付のこと。
- (5) 参加申込締め切り以降、選手の変更は原則認めない。ただし、役員の変更は可能とする。

14. 参加料

1チーム 56,000円（2025年8月15日（金）15：00までに入金のこと）

振込先：ゆうちょ銀行

1. （一社）関西サッカー協会
2. 口座番号 00990-0-169460 郵便局
3. 大会名(No603) 皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会関西大会
4. チーム名・氏名

15. 選手証

JFA登録および本大会に参加申込を完了した選手のみが試合に出場する権利を有する。各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、JFA WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

16. 表彰

- (1) 優勝・準優勝チームに表彰状を授与する。加えて、優勝チームには優勝シャールを授与する。優勝チームはそれを次回大会まで保持し、指定する際に返還する。



17. 傷害補償

チームの責任において傷害保険に加入すること。大会会場において疾病・傷害が発生した場合、大会主催側は原則として応急処置のみを行うものとする。

18. その他

- (1) 優勝チームは皇后杯JFA 第47回全日本女子サッカー選手権大会に出場する権利を得る。
- (2) 大会要項に規定されていない事項については(一社)関西サッカー協会女子委員会において協議の上決定する。
- (3) マッチコミッショナーは、主審と協力して気象状況等に留意し、猛暑日・落雷害・熱中症等、選手の健康等に問題があると判断した場合は、直ちに試合を中断あるいは中止する。

[中断から20分以内には試合を再開できない場合]

当該試合の中止を決定する。(次の試合開始時間に影響があると認められる場合は、その範囲において中断の時間は短縮される。)

[中止した場合]

〈前半の途中での中止の場合〉

再試合(ただし、会場・時間・審判等の変更を含む)を原則とするが、(一社)関西サッカー協会女子委員会の協議・判断で、残り時間の消化によって試合を成立させることや、対応策がない場合には後日抽選にて決定することもある。その際、原則として大会参加費は返金しないものとする。

〈前半が終了している場合〉

試合成立とし、その時点のスコアで勝敗を決定する。同点時は、可能な場合PK戦にて決定し、PK戦ができない場合は、後日抽選にて決定する。

[再開時のメンバーについて]

再開時のメンバーは、原則として、中止になった時点のメンバーがそのまま継続される。ただし、怪我・疾病等により中止試合に出場した選手が再開試合に出場が困難な場合は、中止試合の控え選手から再開試合の出場選手を選出する。(この場合の選手交代は交代回数には含まない。)

- (4) 各会場の留意事項やマイクロバス等の乗り入れについては、各会場との確認を各チームでおこなうこと。
- (5) メンバー表は、試合開始60分前に本部に3部提出するものとする。

以上